

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

常盤新聞

定部金貳圓 廣五號十二 休日曜大祭 郵局石坂部平町長橋附三五 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

九月三十日夕刊

肺病 ロクマクの妙薬

ホシアンチツベルケン
(五日分定價一圓八錢)
過去十有年幾多の人を救へる東洋一の此靈藥
肺を病む人 迷ふ勿れ 疑ふ勿れ 信賴せよ
平町三丁目
ホシチエーンストア
電話四二九番

暗黒篇 七卷

片岡仁左衛門の高弟俊才 片岡千恵藏、入社第一回作 萬花多寶塔をめぐつて劍の渦巻
萬花地獄
キング連載、吉川英治原作 市川小文治、松浦築枝、鈴木澄子、小島陽三助演
説明 月岡一骨、町田英二 特別大興行なれど料金普通 三十日より
有聲座

四谷怪談 十五卷

實川延實・大野三郎助演 南愛子・東良之助 説明 丸山東洲、富岡春朝
◇御入場の方に御供物を差上ります
マキノ學生劇の權威!!! 期待されし名篇の續きは 杉、東郷、小宮、瀧澤、津村の大共演
學生五人男

外科 専門

上田外科醫院

入院應需
平町 南町
電話一三九番

材木 製材

色川

安價デス……多少ニカ、ワラズ
電話三四一番ヲ御呼ビ下サイ
飲むにすぐキク
クノノ散
齒痛、神經痛、痛頭の特効藥
平町各藥店に販賣す
試みられよ、

腸胃 専門

松村病院

内科 専門
十二指 腸虫 病
婦人 淋病 皮膚 病
電話七〇一

外科 一般

赤心堂病院

外科一般 耳鼻咽喉科 女性病科 ×光線科
田町 電話四七五番

常盤毎日新聞

地方分権に就て

大藏政務次官 大口喜六氏談 (二)

今日信用組合も相當には發達してゐるが併し或程度までは自治体をしてその衝に當らしむることが必要である。考へる、この頃逋信省の簡易保險積立運用委員會で議決になつたやうに百圓以下の小額資金を一般に貸付するといふやうなことは極めて時宜に適切したる處置である。考へるが、さてその實行に當つて誰をしてこれを取扱はしむべきか。結局市町村に信賴してそれが全權をゆだねることが最も上策とせられてゐるが、

かし今日の法制において果して市町村がごときで責任をもち得らるゝかは疑問ではないか、果して然りとすれば適當に市町村における事務取扱の範圍を擴張することが急務である、以上は思ひついた事の一に過ぎぬものであるが、それにして地方自治体にはこの場合相當に財源を與ふることが必要である、言ふまでもなく地方には國庫の如く確實な財源はないさうしてその反對に經費に於て節約さるべき餘地は極めて少い。經費の中で最も多いのが教育費、次に土木費であつて之をのぞけば極めて少いものとなるのである、しかもその中に國家の委任になつてゐるものが亦決して少くない

従つて府縣も市町村もその財源に困難する事は恐らく國庫以上ではあるまいかと考へる要するに地方自治体においても節約すべきは節約せねばならぬ、さりながらそののみに依つて今後の施設を全うし得べしとは考へられぬのである、それ故に我々はこの際地方自治の權限を擴張して次第に地方分権の實を擧ぐることをつとめねばならぬと同時にそれには相當の財源をも與ふることを必要と信するものである (をばり)

洋食

イウキ食堂

創業三十周年賣出し中御後援を賜り候御禮として
▲特賣▼
トンカツレツ 各十五錢 (其他相應して)
ライスカツレツ 各十五錢 (各安)
松茸一品 金三十錢
フライ品 金三十錢
十月一日より相始申候
洋式宴會 仕出し
一の井
平町田町電話一六七番

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平南町(電話一七〇番)

内科 小兒科 花柳科 (需應院入)

藤沼醫院

平町 紺屋町
電話四七五番

日々皆様の御最負に酬ゆる爲め左記の通り大々的勉強仕り候是非引續き御愛顧の程御願申候

記
梅 金參圓也 御一人前
松 金五圓也 御一人前
櫻 金七圓也 御二人前
藝妓、車賃往復、お酒、御料理五品
藝妓、車賃往復、お酒、御料理七品
松ヶ岡公園池ノ端(電話二二六番)
割烹 ござ ざわ

工場の安全運動は 産業立國の第一義

平町の安全週間に就いて 猪狩平警察署長談

平町にては全國一齊に行はるる來月二日より一週間に亘る工場安全週間に種々宣傳を行ふ事になつて居るが猪狩平警察署長の語る處に依れば左記の如くである

「工場の健全なる發達を期し工業主、勞務者双方の福利を増進する爲には災害を防止し衛生設備を完全にすることが何よりも大事なことでありましてこれに必要なる 法規の制定に就きましては政府に於てもそれ／＼整備せられつゝあるところでありませうが斯の種施設の改善は法規の強制を俟つまでもなく寧ろ工業主と勞務者各自の自覺的努力に依つて安全第一主義を實行したいものであります今

吾が國に 於ける工場の災害は之を大正十四年中五十人以上の職工を使用する工場に起りたる死傷者の數に看るも二萬九千四百十三人其の扶助金額三百九萬七千七百六十七圓に上つて居ります、斯の如く多數の災害が年々歳々繰り返されるに云ふ有様であつては之れより生じます工業主の損失

産業上の 障害、勞務者並其の一家の不幸などを算へ來りますれば國家や行くことが刻下喫緊の急務であると思ひます、從來各府縣は各箇に安全デー、安

少いに反しまして其の被害が却つて深刻であり且散在的に多數であることは先覺者の知らるゝ處であります茲に於て工場より災害を除くためには先づ工場従事者の安全思想を鼓吹し常に安全習性を徹底せしめ完全なる設備と周到なる注意とに依り無災害工場たらしむることを標的として

安全運動 を進めて

全週間に實施して居りました相當の收穫がありましたことは疑ふの餘地はありませんが只その時季や方法が區々でありますので

茲に一道三府二十一縣聯合して本年十月二日より八日まで工場安全週間を決定するの議が纏り協同一致互に相呼應して翁然たる氣勢が揚げ大々的に災害防止安全第一の精神を振興せんとするのであります。工業主各位は從來とも災害の豫防工場衛生 の完成に

窃盜を發見されて 妻女を凌辱せんと

飛び掛つたが果さず逃走 今朝内郷で捕る

住所不定無職南會津郡伊北村大字只見字田中生れ目黒平三郎(三〇)は窃盜罪の處分を受け福島刑務所より去る十八日放免され石城地方に流れ込み今朝三時頃内郷村高坂坑夫長屋佐藤常吉方に忍び入り箆筒を開いて着物を盗まんとせる所常吉の妻

は夫々努力せられて居ることゝ存じますが、此の機會に於て一層の完全を期することに致して貰ひたいのでありましてこれが實施の方法としましては主催者の計畫に依るの外各工場の優越なる御趣向に依り一層の効果を擧げたいのであります



家庭欄

襟白粉の秘法

襟は一寸自分で直すといふ譯にゆきませんから出来るだけはげぬやうに先づ普通

の順序で煉白粉をぬつたあと微温湯を何杯も掛けて洗うのであります。さうしますと白粉は肌にしみこんで滅多に浮かぬやうになるので御座います。これは玄人のする化粧法ですが素人も大いに於て欲しいと思ひます、又玄人は大抵入浴の時襟だけを右の様にして顔

はかへつてなり又暫くしてからします、これは入浴後直にお化粧をいたしますと顔の温味で白粉が早くくづれるからであります、それですから入浴の場合には襟をじつと二十分もしてお湯のほとばしがさめた頃白粉をすする様にせねばなりません

明春の總選舉有権者 四千名を突破の豫想

いま平町役場が大努力で 選舉名簿の作成

平町では明春執行される衆議院議員選舉名簿作成の爲豫て申告用紙を一般に配布し去る二十日迄に申告なき

十月中旬 頃迄には遅くも全部の整理を完結して縣へ送達する豫定であつたが這般の選舉騒ぎ等で殆ど其申告の順調を缺いてゐるので各區長に依頼すると共に吏員を督勵して申告の促進を計つてゐるが縣議選

平町は豊作 約百石の増収

平町農會調査による本年度水田作付反別は百十三町で今後刈上時までには洪水等の

災害のない限り二千四百三十一石の實收穫を見る豫想でこれを可成りの豊作だつた昨年の實收高二千三百五十石に比べるると尙八十一石の増收である

花柳界 急に景氣付く

選舉が終つて

選舉氣分漲つてからの平町紅燈界は水を打つた様な静寂さを見せ約一ヶ月に亘つて沈黙を續けて來たが選舉終了と共に稍活氣を呈し殊に勝戦組の關係者により久しく苦闘を續けて來た戦友の慰勞宴なども各所に張られ幾月振りでお座敷に出た

など、云れる藝者もある程で非常の景氣を見せてゐる平町の

米價尻上り 大勢好轉歩調 平町地方に於ける正米市況は過般政府が買上を發表して以來其條件が當時の正米界に適せざる方法だつたのと收穫に直面して却つて人氣を悪化し低落歩調を辿るに至れるため地米など三圓方の暴落を見る程であつたが其後に至り各産地の洪水による被害甚大なるを傳へられた結果本月中旬後半に及び大勢轉換し好轉歩調を

架樋の請願

愛谷堰から

石城郡夏井村愛谷堰普通水利組合の飯野村地内古川に架設してある樋は(長さ二十四間)少雨の出水に際しても毎年流失して灌漑上に甚大な支障を來し且つ組合でも之れが修理の負擔に堪へぬから縣の繼續事業たる農業水利改良工事に編入して架樋せられたいと二十八日根本組合管理者から縣に請願書を提出した

益々擴大か

續々召喚さる

昨報收監者三名を出し遂に某縣議當選者宅の家宅搜索を行はるるに至つた選舉違反事件は豫審に附され遠藤豫審判事の手依つて嚴重取調を進行せしめつつある爲報導の自由を有しないが事件益々擴大の様相あり本日も連累者らしき者が續々平署に召喚されつつある

肋骨を折る

瀕死の支柱夫

石城郡内郷村大字白字川平入山第五坑支柱夫安達郡二本松町生れ高橋由三(三二)は廿九日午前八時半頃同炭礦坑内に支柱取除作業に従事中無理に坑天井の横木を外した爲め落盤の爲め押し潰され肋骨三本を折り其

他瀕死の重傷を負ふた